

平成27年度森林鳥獣被害対策技術
高度化実証事業（関東・中部）
報告書

平成28年3月

林野庁

目次

第1章 業務概要	1
1. 目的	1
第2章 奥日光地域	2
1. モデル地域の現状.....	2
2. シカ対策の目標設定.....	6
3. 実証内容	7
3-1. 捕獲手法の検討.....	7
3-2. 捕獲（囲いわな）	8
3-3. 捕獲（モバイルカリング）	13
3-4. モバイルカリングの自動撮影カメラによる評価.....	23
3-5. メッシュごとの自動撮影カメラ撮影状況.....	26
3-6. 捕獲効率の向上に向けて.....	40
3-7. 奥日光における捕獲.....	41
3-8. 捕獲手法の改善.....	42
3-9. 植生影響調査.....	43
3-10. パッチディフェンス.....	60
第3章 伊那地域	64
1. モデル地域の現状.....	64
1-1. 黒河内国有林.....	64
1-2. 浦国有林.....	68
1-3. 鳥獣保護区.....	71
1-4. 周辺のシカの状況.....	73
2. 実証内容	75
2-1. 黒河内国有林.....	75
2-2. 浦国有林.....	77
3. 黒河内国有林における実証.....	79
3-1. 方法	79
3-2. 結果	83
3-3. まとめ	85
4. 浦国有林における実証.....	85
4-1. 方法	85
4-2. 結果	90

4-3. まとめ	103
5. 伊那におけるシカ管理の取り組み.....	103
第4章 シカ対策の進め方.....	105
第5章 現地検討会の開催.....	108
1. 奥日光地域	108
1-1. 実施概要.....	108
1-2. 主な指摘事項.....	108
2. 黒河内地域	109
2-1. 実施概要.....	109
2-2. 主な指摘事項.....	109
第6章 成果報告会の開催.....	110
1. 実施概要	110
2. 発表要旨	112
2-1. 北海道森林管理局 苫小牧市樽前地区における取り組み.....	112
2-2. 東北森林管理局 五葉山及びその周辺地域における取り組み.....	113
2-3. 関東森林管理局 奥日光地域における取り組み.....	115
2-4. 中部森林管理局 伊那地域における取り組み.....	116
2-5. 中国森林管理局 大杉谷地域における取り組み.....	118
2-6. 四国森林管理局 三嶺地域における取り組み.....	120
2-7. 九州森林管理局 祖母傾地域における取り組み.....	121
3. パネリストから出た主な意見.....	123

第1章 業務概要

1. 目的

近年、分布域を広げているシカ等野生鳥獣による被害が深刻化しており、森林においては、造林地の食害のみならず、樹木の剥皮による天然林の劣化や下層植生の食害、踏みつけによる土壌の流出など、国土の保全、水源かん養等森林が持つ公益的機能の低下や森林における生態系に大きな影響を与えている。

このような中で、シカ等野生鳥獣は広大な森林を自由に往来すること、森林は傾斜などの地形条件、積雪などの気象条件等が多様であること、狩猟者の高齢化及び狩猟者数の減少という現状を踏まえつつ、爆発的な繁殖力を有するシカ等野生鳥獣による被害に対し、効率的・効果的な対策を推進する必要がある。

このため、国有林野内にモデル地域を設定し、地域の農林業関係者等と連携を図りながら、森林生態系の保全と農林業被害の軽減を目的に、シャープシューティング等様々な新技術を組み合わせた新たな対策の実証を行った。